

みなとっ子

敬愛 進取 力行

学校教育目標 【共に学び、共に生きる本当の喜びを創り出そうとする子どもの育成】

一みんな幸せ、だからこそ、我も幸せと心から思える子どもの育成一

目指す児童像 思いやりのある子ども よく考える子ども たくましい子ども

文責：教頭

ホームページ

湊小学校ホームページ : <https://www.city.ishinomaki.lg.jp/school/20301000/index.html>

ソーシャルディスタンス ⇒ ⇒ ハートディスタンス・思いやり算へ

令和元年のことでした。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、学校現場は、新しい生活様式を模索して感染症対策に注力しました。グループ学習はなし、給食時の食べ方、人との距離(間隔をあけて)等、友達同士の関わりがぐんと減りました。

今も心に残っているテレビ広告があります。震災直後に流れていたその広告は、「 $+$ 」で始まりました。「 $+$ 」はたすけあう。「 $-$ 」はひきうける。「 $\times$ 」は声をかける。「 $\div$ 」はわけあう。それは人を笑顔にする算数思いやり算 ほらやさしいでしょ 覚えていっちゃる方もいることでしょう。「人を笑顔にする算数」と「ほら優しいでしょ」というフレーズがとても心に響きました。

そのようなことを考えていた矢先、地域に住む男性から学校に電話がありました。「近くに住んでいる子供の挨拶がとても立派です。私は挨拶から元気をもらっています」という内容でした。

また、遠足の時には、5・6年生が、1・2年生の子の歩く速さで歩いたり、荷物を持ってくれたりと一生懸命にお世話をしていました。1・2年であみの杜水族館へ行った時には、2年生がお兄さんお姉さんになり1年生に優しく話しかけていたと聞きました。

困っている友達がいれば助け合う、大変な仕事でも「誰かのために」と笑顔で引き受ける。周りの人とよく声を掛け合う。喜びも悲しみも分かち合う。これからも思いやりのある子供に成長してほしいなあと願っています。

1・2年

「うみの杜水族館へ校外学習に出かけました。」



IMG_6114.HEIC

3・4年

「盲導犬の仕事を知ったり白杖を利用している方の話を聞いたりしました。」



たてわり全校遠足

「秋晴れの下、牧山市民の森で遊んできました。」



12月の生活目標：「校舎内では落ち着いて安全に過ごそう」

12月の給食目標：「かぜに負けない栄養をとろう」

12月の保健目標：「かぜの予防に努めよう」